

## ■神奈川県リハビリテーション支援センターの令和4年度事業の概要

### 神奈川県リハビリテーション支援センター（県委託事業）



実施主体：社会福祉法人 神奈川県総合リハビリテーション事業団 地域リハビリテーション支援センター

### 1. 地域リハビリテーション支援事業

地域リハビリテーション支援事業と高次脳機能障害支援普及事業を実施している。

地域リハビリテーション支援事業は大きく次の3つの事業を実施している。

#### (1) 人材育成事業

研修17本を企画し全て対面で実施した。参加者は総募集定員410名に対し352名の参加があった。評価点は4点満点で3.9であった。

#### (2) リハビリテーション従事者等を対象とした研修

地域リハビリテーション連携構築推進事業（県委託事業）を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大により一部実施方法を変更したが、県内2カ所で各2回計4回の研修を実施し、延べ120名の参加があった。

#### (3) 相談事業（県委託事業）

当支援センターの専門スタッフが市町村及び地域のリハ関係機関と協働して総合相談・情報提供・技術支援などを実施するものであり、個別の課題の解決のみならず、相談事例を通して地域の医療・介護・福祉及び多職種・多機関による包括的アプローチを発展させることを目的として、利用者が住み慣れた地域で長く生活できるよう地域のサービス提供事業者との連携を重視し実施している。総相談件数は、188件（前年比+48.0%）、新規相談件数107件。訪問件数延べ26回（前年比+216.7%）であった。その他、情報提供、関係会議の出席、政令市の地域リハビリテーション提供事業所との連絡会の開催等を行った。

#### 情報提供

広報誌「地域リハビリテーション支援センターだより」を発行（年6回）。ホームページに県内リハビリテーション関係機関情報、研修案内、お役立ち情報として、機能維持体操等の動画配信等を行っている。ホームページの総アクセス数は、45,377件であった。

(1) リハビリテーション研修（人材育成事業）

NO	研修名	受講者数	評価/4点	NO	研修名	受講者数	評価/4点
1	セラピストのためのハンドリング入門	14名	4	10	脳血管障がいの評価と治療	26名	3.9
2	脳血管障がいのリハビリテーションの実際	18名	3.9	11	褥瘡予防セミナー	25名	3.8
3	摂食嚥下障がいのリハビリテーションの実際	16名	4	12	(新) 脳卒中の方の就労支援	16名	3.8
4	からだにやさしい介助入門	19名	4	13	ポジショニング入門	33名	4
5	からだにやさしい介助入門	24名	4	14	知的障がいのある方への生活支援	31名	3.8
6	コミュニケーション支援の実際	21名	3.8	15	在宅における呼吸器・循環器管理について	19名	3.8
7	排泄ケアの知識と実践	21名	4	16	車いすシーティング	21名	4
8	PT・OTのための臨床動作分析	19名	3.9	17	(新) 地域生活を支える支援とは	11名	3.9
9	視覚障がいのある方への支援	18名	3.8	合計 開催回数 17回 352名			3.9

(2) リハビリテーション従事者等を対象とした研修

地域リハビリテーション連携構築推進事業 鎌倉市及び秦野市の2カ所で実施した。

鎌倉市編	
開催方法	対面及びオンライン（ハイブリッド・Zoom）
参加人数	延べ45名
実施テーマ	「今一度知ろう 地域ケア会議におけるリハビリテーション職の役割と可能性について」
プログラム	講演1 「ケア会議における理学療法士の役割と可能性について」
1部	講演2 「ケア会議における作業療法士の役割と可能性について」
	講演3 「ケア会議における言語聴覚士の役割と可能性について」
	講演4 「神奈川県リハビリテーション支援センターの役割と可能性について」
2部	「模擬ケア会議」
	ディスカッション
評価	1部 3.5/4.0、2部 3.8/4.0
秦野市編	
開催方法	対面及びオンライン（ハイブリッド・Zoom）
参加人数	延べ75名
実施テーマ	「障害福祉グループホームにおけるリハビリテーションの可能性について」
プログラム	～グループホームをとりまく状況と多職種連携について～
1部	講演1 「イントロダクション 今回の研修に至った経過と目的について」
	講演2 「市内障害福祉グループホームをとりまく状況と今後について」
	講演3 「グループホームの生活に多職種を介入させていく有用性」
	講演4 「リハビリテーション職を導入してみよかったこと」
2部	講演1 「知的障害者の身体機能低下について」
	講演2 「リハビリテーション専門職からみた介入の意義」
	講演3 「障がい利用計画に反映させるために」
	講演4 「神奈川県共生推進本部よりメッセージ」
評価	1部 3.5/4.0、2部 3.8/4.0

### (3) リハビリテーション専門相談（相談事業）

相談依頼元の相談件数（延べ）

リハ専門依頼元	件数	構成比
本人家族	59	31.30%
障害者施設	46	24.40%
障害者相談支援事業所	21	11.20%
訪問看護事業所	15	8.00%
居宅介護事業所	11	5.90%
高齢者施設	10	5.30%
教育機関	8	4.30%
医療機関	6	3.20%
市町村	5	2.70%
地域包括支援センター	2	1.10%
保健福祉事務所	1	0.50%
訪問介護事業所	1	0.50%
障害者更生相談所	0	0.00%
その他	3	1.60%
合計	188	100.00%

障害別の相談件数（延べ）

リハ専門障害別	件数	構成比
視覚障害	42	22.40%
知的障害	27	14.40%
脳性麻痺	23	12.20%
神経・筋疾患	23	12.20%
脊髄障害	21	11.20%
脳血管障害	21	11.20%
後天性脳損傷 (除く脳血管障害)	14	7.40%
骨関節疾患	4	2.10%
その他	12	6.40%
不明	1	0.50%
合計	188	100.00%

相談内容別の相談件数（延べ）

訪問・来所の 主たる目的	件数	構成比
補装具・福祉用具機器	9	32.20%
介護指導	4	14.30%
訓練プログラム指導	4	14.30%
コミュニケーション支援	4	14.30%
ADL指導	3	10.70%
支援内容検討	2	7.10%
環境整備	2	7.10%
医療	0	0.00%
その他	0	0.00%
合計	28	100.00%

## 2. 高次脳機能障害支援普及事業

神奈川県より「高次脳機能障害支援普及事業」を受託し拠点機関とし次の業務を実施している。

### (1) 相談支援

高次脳機能障がい者の相談支援や地域の関係機関との調整等を実施した。また、県内の高次脳機能障がい者とその家族を対象に、巡回相談の要請があった場合に自宅への訪問相談を含め実施した。

相談依頼元の相談件数

区分	件数	構成比
医療機関（外来含）	60	35.3%
本人・家族	68	40.0%
地域相談窓口	23	13.5%
介護保険関係機関	8	4.7%
市町村	2	1.2%
障害者施設	6	3.5%
家族会	1	0.6%
その他	2	1.2%
合計	170	100.0%

障害別の相談件数 件数

区分	件数	構成比
脳卒中	83	48.8%
成人外傷性脳損傷	53	31.2%
小児脳損傷	0	0.0%
神経難病	0	0.0%
脊損・頸損、	0	0.0%
骨・関節疾患	0	0.0%
不明	3	1.8%
その他（低酸素脳症等）	23	13.5%
合計	170	100.0%

相談内容別の相談件数（重複）

区分	件数	構成比
生活課題への対応	695	27.6%
経済・制度利用	568	22.6%
家族支援	265	10.5%
福祉サービス・社会資源	264	10.5%
就労・教育等	263	10.5%
医療	233	9.3%
リハビリテーション訓練	210	8.4%
補装具	3	0.1%
医療機関紹介	9	0.4%
その他	3	0.1%
合計	2513	100.0%

### 巡回相談（当事者家族会）

5カ所延べ86回実施しました。延べ参加者は当事者184名、ご家族159名、支援者171名であった。

新たな参加も見られ、当事者・家族同士のピアカウンセリング、地域での相談場所としての認識の広がりが見られた。また、地域の支援者の同席による社会資源の情報共有など身近な地域で相談を受けられる体制づくりの一助となっている。

相談支援につながったケースが10件あった。

### (2) 研修会の開催

高次脳機能障害への普及啓発を目的としたセミナーを年4回実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により全てオンラインによる研修とした。

NO	研修名	受講者数	評価/4
1	高次脳機能障害セミナー 小児編	19名	3.9
2	高次脳機能障害セミナー 理解編	66名	3.8
3	高次脳機能障害セミナー 実務編	33名	3.9
4	高次脳機能障害セミナー 就労支援編	33名	3.9
	合計	151名	

### (3) 事例検討会の開催 6回（対面2回・オンライン4回開催）

延べ参加者90名

参加職種：福祉職・障害施設支援員・相談支援専門員・看護師・作業療法士・ケアマネジャー・行政医療ソーシャルワーカー・保健師・地域包括相談員・精神保健ソーシャルワーカー  
グループホーム世話人・就労支援員・生活支援員など

### (4) 高次脳機能障害支援機関 神奈川県内ネットワーク連絡会の開催 2回

県内の高次脳機能障害支援に携わっている機関や事業所間の連携強化やネットワーク化を図り、支援技術の向上に寄与することを目的として参集しています。